

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年12月16日更新

事務事業名		竹林整備循環型環境保全事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	事業部	課長名	富加美 尚悟
	施策	9	住環境の充実			所属課	農政課	担当者名	大茂竜二
	基本事業	27	みどりの景観の保全			所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市農村集落竹林整備補助金交付要綱	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 25年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 25年度から開始			事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 ~ 年度)	
							成果優先度評価結果		
							コスト削減優先度評価結果		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	農村集落竹林の保全、環境の保全と特産物(たけのこ)生産につながるよう、間伐及び全伐整備実施者に対し助成を行っているが、この伐採竹を原料として菌体飼料及び菌体肥料を生産し、畜産農家等への普及拡大を図る。この菌体飼料は家畜の飼料に添加することにより、生育管理の安定と糞尿の消臭効果が期待される。菌体肥料は堆肥に混ぜることにより、土壌中の硝酸態窒素の削減と消臭効果が期待できる。この事業を循環させることにより、竹林整備事業拡大による建設業者への業務発注の促進と、菌体飼料及び菌体肥料の生産工場を誘致することによる雇用確保、消臭効果による悪臭苦情の減少、土壌中硝酸態窒素削減による地下水汚染対策、また竹林整備による里山の環境保全に繋げる。初年度は既存の菌体飼料によるサンプリング調査を行い、消臭効果の実証確認を行い、適正使用料を算出し、全体事業に必要な竹量や整備費用、事業体制などの検討を行う
【業務の流れ】	モニター調査として、現在、悪臭対策の指導を行っている畜産農家など5件へ既存の菌体飼料を配布し、2ヶ月間モニタリングを実施する。実施結果を元に全体事業計画の整備を進める。
【主な予算費目】	6農林水産費 2林業費 1林業総務費 11需用費 1消耗品費(モニター調査用菌体飼料購入費489,600円) 畜産農家2件 1頭あたり0.5kg/日×34円/kg×60日分×100頭×2農家=204,000円 養豚農家1件 1頭あたり0.2kg/日×34円/kg×60日分×200頭×1農家=81,600円
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	竹林の有効利用と景観の保全のため、間伐及び全伐整備実施者に対し助成を行っているが、竹林整備については市民からの要望が多くもの間伐作業が主に手作業のため人件費にかかる費用が多額となることから、近年は竹林整備を行う人が減少し、竹林の整備を進めるためにも、間伐後の竹資源の有効活用が必要ではないかと考えた。伐採した竹材を粉碎し販売できれば、その費用捻出に繋がることから粉碎机(チップパー)購入の要望も多い。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
モニター農家の選定・登録、飼料購入、配布、調査、結果分析、全体事業計画検討。	なし
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: モニタリング数	件
→ イ:	モニタリングのみの実施のため単年度で終了
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
竹資源	(単位)
	→ ア: 菌体飼料数
	→ イ:
kg	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
菌体飼料・菌体肥料	(単位)
	→ ア: 飼料を使用した家畜数
	→ イ: 悪臭が軽減できた割合
	頭
	%
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
みどりの景観を保全する	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
490	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	件			5	7				
	イ									
② 対象指標	ア	kg			10,000	11,000				
	イ									
③ 成果指標	ア	頭			600	600				
	イ	%			30	71				
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円			490	465			
	(A) 事業費計	千円			490	465				
	(A)のうち指定経費	千円			0	0				
	(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0				
	人 件 費	正規職員従事人数	人			1	1			
	延べ業務時間	時間			2	2				
	(B) 人件費計	千円			0	0				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			490	465				

事務事業名	竹林整備循環型環境保全事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 竹を利用した菌体飼料のモニタリング調査については予定どおり実施し目標どおり達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはしているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 モニタリング調査の結果では、悪臭防止効果を実感できた畜産農家の割合は高かったが、畜産農家が自主的に購入し使用するまでには及ばなかった。そのため、今後、この菌体飼料の原料となる竹資材を調達するための竹林伐採は進まず、竹林整備による景観保全整備事業も進捗しないものと判断した。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業終了のため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 農村集落竹林整備補助金を利用した連携も検討したが、畜産農家からの菌体飼料の使用希望が少ない現状では可能性がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 菌体飼料(二次製品)の購入費のみであるため余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 製品購入委託契約並びに使用農家からのアンケート集計業務のみであるため余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 農村集落における環境保全(悪臭対策・地下水汚染対策)が目的であり、さらに事業の延長上には雇用対策にもつながることから公平公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 予算執行のみであり適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

事業目的は農村集落において竹林整備を促進して、その伐採竹を利用した菌体飼料による畜産農家を核とした環境保全(悪臭対策・地下水汚染対策)の取り組みであり、この事業の循環により地域環境保全と雇用対策の実現に向けたものであったが、モニタリング調査の結果、畜産農家が自主的に菌体飼料を使用するまでには及ばないため次年度以降の実施は取りやめた。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						